AYA さんは Co-Co Life ☆女子部のスタッフ参加を通じてデザインのヒントも沢山得たとのこと。エスプリローブの今後の新作にも注目です！

Co-Co Life☆女子部スタイリスト　AYAさんの語る「未来」

輝く女性は世界を拓く！

フリーペーパー「Co-Co Life ☆女子部」の主な制作スタッフは障がいをもつ女性。そんな中、AYA さんは数少ない障がいをもたない制作スタッフ。本業、ママ業に加え、スタッフとしても活躍する彼女が目指す「未来」とは？

「なんてキラキラした人だろう！」これが、AYAさんの第一印象でした。「こっちこっち！」と笑顔で手を振る彼女の姿は、中折れハットがカッコいい、他人には真似の出来ないMIXコーデ！それもそのはず、彼女の本業は洋服やグッズの製造販売をするオリジナルブランドのデザイナー。家では、育ち盛りの二児の母。そして今は、「ココライフ☆女子部」でスタイリストも務めています。

AYAさんとこの本との出会いは、障がい者や高齢者の服作りを学び始めた頃。「心身に問題を抱える人々が、オシャレを楽しみ心豊かに生きるためのお手伝いをしたい」というご自身の考えは正しいと確信したのだそう。

制作参加中のAYAさんは、本業、ママ業、誌面制作という3つをかけ持ちしていて、とってもパワフル！制作中は各々の折り合いをつけるために、AYAさんの空き時間をフル活用しつつ、極力家族との時間も大切にしていたとのこと。でもそれを実現させるまでには、私生活での努力があったようです。「私たち夫婦は、『子どもの世話を人に頼らなくて済む範囲内で仕事をする』というスタンスで、私の仕事は夫の休日に集中させていました。でも、折角の休日も家族が揃わないとなると、不平や不満も出てきます。仕事に熱くなるタイプの私は、思うように仕事が出来ず歯がゆさを感じましたが、今思えば、仕事と家族との時間のバランスがうまく取れていなかったのだと思います。」

そんな熱い性格のAYAさんですが、今の誌面を分析する目は冷静です。「この本は、女性が外へ出るきっかけや勇気を与えてくれるものです。が、客観的に言わせてもらうと、今の誌面は障がいをもつ女性だけに発信しているように感じます。障がいの有無に関係なく同世代の女性が抱える問題や、今感じている思いを共有できるメディアになれば、というのが私の願いです」

AYAさんをはじめ、輝く女性たちの作り出すこの本が目指すのは、障がいの有無にかかわらず、女性が一歩踏み出すきっかけ作り。彼女たちの今後の活躍にも注目です！

Co-Co Life ☆女子部は、NPO法人施無畏が発行するフリーペーパー。年4回発行。B5版24ページ。11月27日発行のvol.2でも、AYAさんがスタイリスト・監修を務めた巻頭特集「うす着☆美コーデで街に出よう！」をはじめ、旬な情報や女子力アップのための情報が満載です。詳しくは公式HPをClick！ www.co-co.ne.jp

AYA さんが代表を務める「エスプリローブ」は、レディスウェアとグッズ、ウェディングドレスやブライダル小物をデザインし、製造・販売するアパレルショップ。
「心身の問題により今の世の中を前向きに生きることを不安に感じる人が、お洒落を楽しむことで、自分らしさを失わず、明るく過ごしていけるように」という思いが込められたブランド。
ホームページ　www.espritrobe.com/

写真左が AYA さん。撮影中、写真もしっかりチェックします。